

## 第 14 回上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会

日時：令和 5 年 11 月 20 日（月）

18 時～19 時 30 分

会場：長野県伊那合同庁舎 講堂

### 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 会議事項

（1）第 13 回上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ 【 資料 1 】

（2）校地検討会議からの報告 【 資料 2 】

（3）意見交換

4 その他

5 閉 会

## 第13回 上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時・会場	令和5年(2023年)9月11日 18時00分～19時30分 ニシザワいなっせホール
出欠席	懇話会構成員：出席者25名、欠席者9名 (欠席者：浦野邦衛、唐澤直樹、山下政隆、小河節郎、城取 誠、宮下陽子、島尻理恵子、原 潤、平澤晃洋(敬称略)) 事務局：県教委3名(中島主幹指導主事、田中主任指導主事、宮崎主事) 辰野高校3名、箕輪進修高校2名、上伊那農業高校3名、駒ヶ根工業高校3名
傍聴者	傍聴12名、報道5社(オンライン含む)
会議事項	(1) 第12回上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ (2) 学校像のイメージ(案)について (3) 上伊那地域の中学校卒業予定者数の推移と新校の募集学級数、開校年度の考え方について (4) 校地検討会議からの報告
当日資料	第13回懇話会(資料)

## 主な内容(意見及び発言等、→事務局回答 ◎座長のまとめ)

- (1) 第12回上伊那総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ(資料1～3の説明、質疑、意見聴取)  
前回懇話会での意見交換の主な意見・発言の確認。グループ討議で出された意見の確認。  
(質疑、意見なし。)
- (2) 学校像のイメージ(案)について(資料4の説明、質疑、意見聴取)
- カタカナ語の表現がわからないため表現の簡素化は可能か。  
→事務局で検討したがカタカナ語は注釈が必要なところもある。言葉として広げたいものもある。対応を考えたい。
  - 説明を聞くとイメージ図を理解できるが、見ただけではわからない。資料の説明を別紙として添付したらどうか。
  - 議会向けに作られていると承知している。これでよいのではないか。  
→中学生、保護者向けにはもう少し説明したほうが良いと思われる。意見を参考にさせていただきたい。
  - 農工商が一緒になるので、「新しい学び」という言葉を盛り込んでほしい。
  - 生徒会やクラブ活動が盛り込まれており、わかりやすくなった。
  - わかりやすい資料を作って戴いた。信州大学農学部は連携を進めさせていただきつもりでいる。
  - 南信工科短期大学校も名前を入れさせていただきたい。地域連携コーディネータの方にしっかり担っていただきたい。  
→今後いろいろと相談させていただきたい。
- (3) 上伊那地域の中学校卒業予定者数の推移と新校の募集学級数、開校年度の考え方について(資料5、6の説明、質疑、応答)
- 工業科の充足率が低いのはどうしてか。これから定員を決めていくときに必要な分析をお願いしたい。  
→校長会の工業部会でも懸念している所。分析はこれからである。
  - 高校ごとに充足率を出していただきたい。特徴的なことが出てくるのではないか。  
→学校ごとに出すことは可能。
  - 学校ごとの充足率を出すことについては、慎重にすべきではないか。
  - 学級数の増減による学校運営上の影響があるのか。募集学級数の最終決定は前年度だというのが心配である。  
→学級数は教員数、開講講座の編成等に影響される。学校づくりにあたってはクラス数を想定しつつ進める。
  - 学科毎の充足率について資料が出たが、この数値だけで学級数等の判断をしていくのは危険である。
- (4) 校地検討会議からの報告(資料7の説明、質疑、意見聴取)
- 学びのイメージの固まりを踏まえて進めるが、観点について意見交換を行い校地検討の意見交換に入れるようにする。
  - 校地は一つ(総合技術高校は、農業科、工業科、商業科等が一つの校地にあるから、他学科の科目を受講でき、課題研究等の探究的な学びにもすぐに連携できる。また、生徒会活動、部活動等においても、校地が一つであると移動が必要なく、特別活動、課外活動が充実する。)、現校地を活用(辰野及び箕輪進修の校地は対象としない)、意見交換を踏まえ県教委が校地を決定。
  - 校地・校舎に係る環境、通学環境、学校を取りまく環境、その他の4つの環境を定め、検討項目、観点から検討する。
  - 資料7、2(4)の「校舎工事期間における生徒の学びの保障について」については、検討項目から除く。
  - (補足)2(3)の「他の学校等(幼保小中高大)」には特別支援学校を含め検討する。  
(質疑、意見なし。)
- ◎学びのイメージについて、懇話会での確認ができたので、校地検討会議で校地選定の意見交換をはじめます。  
◎これまでの意見交換を踏まえ、事務局では「再編実施基本計画」の策定に向けた作業をはじめます。

## 今後の検討事項

◎今回の学びのイメージ図を基に議会同意に向けた資料の作成を継続していく。

## その他

【次回】 詳細未定